

こども言葉は萌え言葉？

子供のうちしか話せない言葉ってあるんです。いま、うちの子供の一番下の子が4才で、そんな時期も、もう最後だと思いますので、幼児言葉について紹介させていただきます。使いこなせれば、きっとモテます。(今風に言うと、萌えます)

①まず最近のヒット作は「じゃない！」です。発音は、「家内(かない)」と同じアクセントで読みます。大人ならば「違う」というところ、すべて「じゃない」で通してみてください。例：「今日、おねしょしたろ？」「じゃない！」「野菜は好きかな？」「じゃない！」これを外来で使うには勇気がいるので、まずはスタッフか看護婦さんに向けて使ってみましょう。「先生、コーヒーがいいですか？」「じゃない！(紅茶です)」「今日はお疲れ様でした」「じゃない！(疲れてないよ)」使い方によっては、イラッとされるかもしれませんが、可愛らしく言うのがポイントです。

②「ドロン！」これは昔からある言い方で、一度は死語と化していたのですが、最近の「ドローン」なるヘリコプター様の偵察機が流行っているおかげで、復活しました。年配の方なら発音できるでしょう。でも「今日はこの辺でドロンするわ。」なんて、いまの若い人に使ったら、ひきつる顔が目に浮かびますねえ。でも、子供言葉は少しニュアンスが違います。一回きりの言い切りです。「ドロン！」は、「帰る！」と言い切る時に使うと、嫌味なく使えます。飲み会が終わって、「お疲れ様～」とか言いあっているときに、「ドロン！」と一言言い残して、さっさと歩いて去っていく。その姿に若い人も萌える親父だと羨望のまなざしを向けるでしょう。(注：サラバ！は死語です)

③「一旦ごめん」これも最近はやりの妖怪ウオッチで人気のキャラクター「一旦ゴメン」から派生した言葉ですね。本来は水木茂さんの描いていた「一反木綿」が元ネタですが。ちょっと若目の患者さんが来たら使ってきてください。へんな顔されますが、結構うけますよ。「先生、この間、薬出すの忘れたでしょう？」「ごめん、ごめん、一旦ごめん」テンポ良く言うのがポイントです。(許してちょんまげ！と言うのがありましたが、あんな感じ)少し怒っているくらいなら、笑って許してもらえるはず。

④「サラダ丸」最後に、今年一年使えるネタです。もちろん元ネタは「真田丸」ですね。今年のNHKの大河ドラマですから、しばらく流行ってますので、わざとらしく「ほら、いまNHKのサラダ丸に出てくる、堺雅人が」とか「先週のサラダ丸見た？」とか言ってみましょう。タイミングによっては、その日一日朗らかに過ごせるはず。僕にとっては、堺雅人のあの唇をかみしめて、目を大きく開いた顔が、なぜかヤマザキパンのおまけでもらえる白い皿とそこに盛られたサラダとウインナーを前に喜ぶ子供の顔を想像させて、彼自身にサラダ丸が一番しっくりとくる仇名ではないかと思ってしまうのです。

以上、最近気になった言葉をご紹介します。本当にモテるかどうかは、ご自身のキャラとよくご相談になってから、お試しになってください。当方責任は持ちません。